

科目名	病院実習 1							年度	2025
英語科目名	Hospital Internship 1							学期	後期
学科・学年	医療事務科 1 年次	必/選	選	時間数	120	単位数	4	種別※	実習
担当教員	加藤秀樹	教員の実務経験		無	実務経験の職種				
【科目の目的】 在学期間中に自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行い、実践的な体験と動機づけにより将来の医療人を育成することを到達目的とする。									
【科目の概要】 一定期間、医療機関等の研修生として働き、自分の将来に関連のある職業体験を行います。									
【到達目標】 学生が在学期間中に自らのキャリアに関連した就業体験を行い、実践的な体験と動機づけにより将来の医療人を育成することを到達目標とする。具体的には、病院における仕事の流れと仕事の進め方を理解すること。病院の組織構造、および組織における人間関係やルールを理解すること。学校で学んだ知識が社会でどのように活かせるかを確認し、今後の学習への動機づけをすることを目標とする。今後の学生生活で学んだことが活かせるように病院実習前に各自が目標を立ててから参加してほしい。									
【授業の注意点】 病院実習活動賠償責任保険（総合賠償責任保険）に事前に加入すること。勤務時は受入先から特に指定がない場合は原則、スーツを着用する。期間中に電車遅延や体調不良で遅刻・欠勤する場合は必ず電話連絡すること。無断欠勤や勤務時の態度が悪い場合は、病院実習を中断する可能性があるので、やむを得ない事情がある場合は、受入先病院、担任に速やかに連絡する。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル 3		レベル 2			レベル 1			
	優れている		ふつう			要努力			
到達目標 A	病院における仕事の流れと仕事の進め方を理解し実践できる		病院における仕事の流れと仕事の進め方を理解しているが、実践できない			病院における仕事の流れと仕事の進め方を理解していない			
到達目標 B	病院の組織構造、および組織における人間関係やルールを理解している		病院の組織構造を理解していない、または組織における人間関係やルールを理解していない			病院の組織構造、および組織における人間関係やルールを理解していない			
到達目標 C	学校で学んだ知識が社会でどのように活かせるかを理解し、今後の学習への動機づけをすることができる		学校で学んだ知識が社会でどのように活かせるかを理解しているが、今後の学習への動機づけをすることができない			学校で学んだ知識が社会でどのように活かせるかを理解しておらず、また今後の学習への動機づけをすることができない			
【教科書】 レジュメ・資料を配布する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 実習への取り組み、課題等を含めて総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		病院実習 1			年度	2025
英語表記		Hospital Internship 1			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	病院実習ガイダンス	病院概要、就業規則及び情報セキュリティの説明、実習の内容などを理解する	1 病院研究	病院概要と就業規則を理解する	2	
			2 情報セキュリティ	就業時の情報の取扱い方とリスクについて理解する		
			3 業務内容	病院実習で行う業務内容を理解する		
2	病院実習事前準備	病院実習に向けて、必要となる書類を用意する	1 関連書類の作成	必要となる書類を作成する	2	
			2 抗体検査	必要となる抗体検査などを行う		
3	病院実習挨拶訪問	実習先の病院に挨拶に伺う	1 挨拶訪問	実習先病院に実習前に挨拶に伺う	2	
4	病院実習事前発表会	実習を行う前に病院実習の目的を明確化する。	1 発表会準備	発表用の資料を纏める	2	
			2 発表会	病院実習に行く目的を明確にするために事前発表会を行う		
5	病院実習参加(1)	実際の病院で働くことで医療事務員の仕事を理解する	1 業務理解	就業体験を通して医療事務員の仕事を理解する	2	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
6	病院実習参加(2)	実際の病院で働くことで医療事務員の仕事を理解する	1 業務理解	就業体験を通して医療事務員の仕事を理解する	2	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
7	病院実習参加(3)	実際の病院で働くことで医療事務員の仕事を理解する	1 業務理解	就業体験を通して医療事務員の仕事を理解する	2	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
8	病院実習参加(4)	実際の病院で働くことで医療事務員の仕事を理解する	1 業務理解	就業体験を通して医療事務員の仕事を理解する	2	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
9	病院実習参加(5)	実際の病院で働くことで医療事務員の仕事を理解する	1 業務理解	就業体験を通して医療事務員の仕事を理解する	2	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
10	病院実習参加(6)	実際の病院で働くことで医療事務員の仕事を理解する	1 業務理解	就業体験を通して医療事務員の仕事を理解する	2	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
11	病院実習参加(7)	実際の病院で働くことで医療事務員の仕事を理解する	1 業務理解	就業体験を通して医療事務員の仕事を理解する	2	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
12	病院実習参加(8)	実際の病院で働くことで医療事務員の仕事を理解する	1 業務理解	就業体験を通して医療事務員の仕事を理解する	2	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
13	病院実習参加(9)	実際の病院で働くことで医療事務員の仕事を理解する	1 業務理解	就業体験を通して医療事務員の仕事を理解する	2	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
14	病院実習参加(10)	実際の病院で働くことで医療事務員の仕事を理解する	1 業務理解	就業体験を通して医療事務員の仕事を理解する	2	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
15	成果報告会の実施	各病院で成果報告会の実施、報告書の作成などを実施する	1 報告書の準備	発表することを念頭に適切に文書をまとめる	2	
			1 報告書の発表	活動内容を分かりやすく報告する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等